

氏名	森下 美智子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6101 号
学位授与の日付	令和 2 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Risk factors for cytomegalovirus infection in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis (ANCA 関連血管炎患者におけるサイトメガロウイルス感染のリスク因子)
論文審査委員	教授 山田雅夫 教授 森実 真 教授 草野展周

学位論文内容の要旨

免疫抑制下宿主にサイトメガロウイルス (CMV) 感染が起きると、死につながりうる。本研究は、ANCA 関連血管炎 (AAV) 患者における CMV 感染のリスク因子検出を目的に行われた。2006 - 2016 年に当院で寛解導入治療を受けた AAV 患者を後方視的に解析した。主要アウトカムは治療開始後 3 か月以内の CMV 感染発症とした。111 例のうち 13 例 (11.7%) が CMV 感染を発症した。CMV 感染例は非感染例と比べ、高齢で BMI が高く、重症型と多発血管炎性肉芽腫症 (GPA) が多くみられ、Birmingham Vasculitis Activity Score と CRP が高値であった。ロジスティック回帰分析では、重症型 (オッズ比 [OR] = 9.68, 95%信頼区間 [CI] = 1.92 - 60.23) と GPA (OR = 7.46, 95% CI = 1.46 - 47.60) が独立したリスク因子であった。

論文審査結果の要旨

1) 免疫抑制下宿主にサイトメガロウイルス (CMV) 感染が起きると、死につながりうる。本研究は、ANCA 関連血管炎 (AAV) 患者における CMV 感染のリスク因子検出を目的に行われた。2006-2016 年に当院で寛解導入治療を受けた AAV 患者を後方視的に解析した。

2) 主要アウトカムは治療開始後 3 か月以内の CMV 感染とした。111 例のうち 13 例 (11.7%) に CMV 感染を認めた。CMV 感染例は非感染例と比べ、高齢で BMI が高く、重症型と多発血管炎性肉芽腫症 (GPA) が多くみられ、Birmingham Vasculitis Activity Score と CRP が高値であった。ロジスティック回帰分析では、重症型 (オッズ比 [OR] = 9.68, 95%信頼区間 [CI] = 1.92- 60.23) と GPA (OR = 7.46, 95% CI = 1.46- 47.60) が独立したリスク因子であった。

3) 委員からは、CMV 感染の評価方法の妥当性、治療介入の影響、病型との関連性について質問があったが、本研究者は、いずれも的確に説得力をもって説明した。

4) 本研究は、ANCA 関連血管炎患者のサイトメガロウイルス感染のリスクファクターについて、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位をえる資格があると認める。